

## 平成20年埼玉県鉱工業指数の概要

### 1 概況 ー生産指数、出荷指数ともに低下ー

平成20年の埼玉県鉱工業指数（平成17年平均=100）は前年に比べ、生産▲5.2%、出荷▲5.8%と低下し、在庫6.6%、在庫率は4.3%と上昇した。

四半期別に一年間の動きをみると、生産は4～6月期が対前期比で上昇、1～3月期、7～9月期、10～12月期が低下、出荷は年間をとおして全期低下した。

また、在庫は10～12月期が上昇、1～3月期、4～6月期、7～9月期が低下した。

業種別（生産・出荷22業種、在庫21業種）にみると、生産は、情報通信機械工業が上昇、化学工業が横ばい、印刷業・一般機械工業など20業種が低下した。出荷は、情報通信機械工業・金属製品工業が上昇、一般機械工業・印刷業など20業種が低下した。在庫は、電気機械工業・輸送機械工業など12業種で上昇、一般機械工業・鉄鋼業など9業種が低下した。

表1-1 鉱工業総合指数の推移（17年=100 季調済、年の数字は原指数による）

種別		19年	20年	20年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	106.8	101.2	104.0	104.4	101.8	94.8
	増加率(%)	1.1	▲5.2	▲4.6	0.4	▲2.5	▲6.9
出荷	指数	106.3	100.1	104.1	103.6	101.8	91.0
	増加率(%)	1.3	▲5.8	▲3.5	▲0.5	▲1.7	▲10.6
在庫	指数	103.2	110.0	94.1	93.5	91.5	102.2
	増加率(%)	▲3.3	6.6	▲3.7	▲0.6	▲2.1	11.7
在庫率	指数	99.4	103.7	98.5	97.8	98.5	119.0
	増加率(%)	▲3.9	4.3	▲1.3	▲0.7	0.7	20.8

図1-1 鉱工業総合指数の推移（17年=100 季調済、年の数字は原指数による）

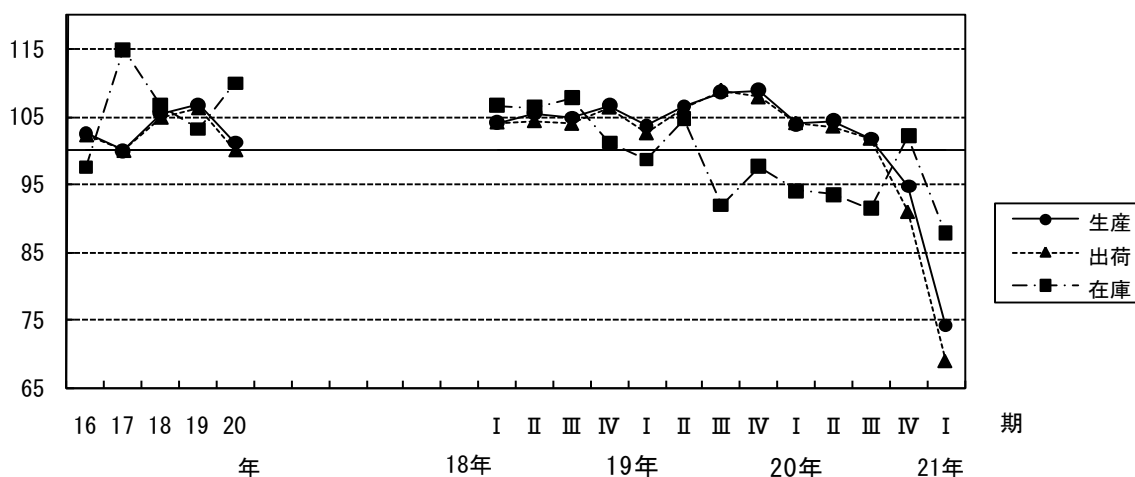


表 1-2 上昇・低下に寄与した業種及び品目

\*生産

上昇した主な業種	情報通信機械工業 4.7% ( 0.2%)	携帯電話
低下した主な業種	印刷業 ▲17.8% (▲1.4%) 一般機械工業 ▲9.6% (▲1.2%)	平版印刷 半導体製造装置
上昇した主な品目	フラットパネルディスプレイ製造装置(一)、おう版印刷(印)、携帯電話(情)	
低下した主な品目	平版印刷(印)、半導体製造装置(一)、乗用車(輸)	

\*出荷

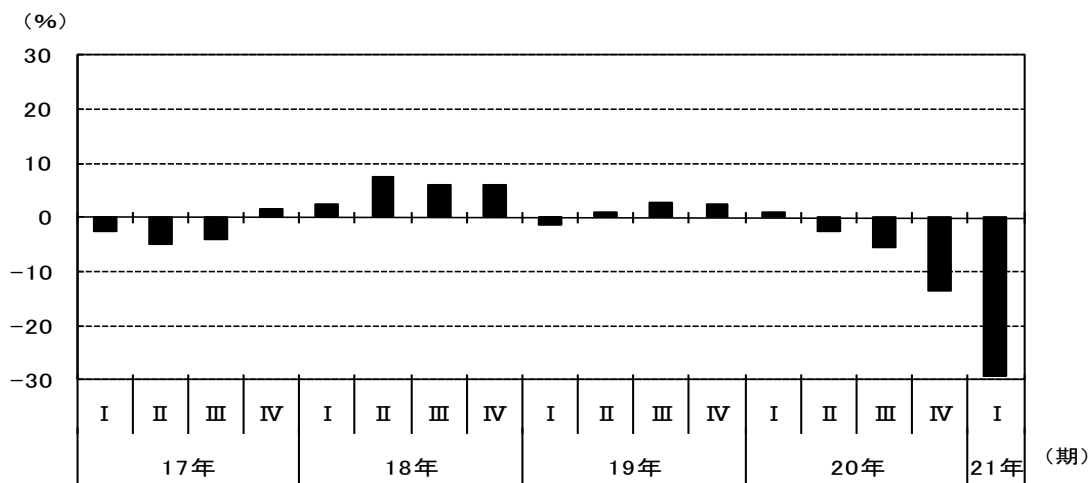
上昇した主な業種	情報通信機械工業 9.2% ( 0.6%) 金属製品工業 0.9% ( 0.1%)	携帯電話 食缶
低下した主な業種	一般機械工業 ▲17.1% (▲1.8%) 印刷業 ▲17.8% (▲1.2%)	半導体製造装置 平版印刷
上昇した主な品目	携帯電話(情)、おう版印刷(印)、フラットパネルディスプレイ製造装置(一)	
低下した主な品目	平版印刷(印)、半導体製造装置(一)、乗用車(輸)	

\*在庫

上昇した主な業種	電気機械工業 29.7% ( 4.7%) 輸送機械工業 16.3% ( 3.6%)	クッキングヒーター 乗用車
低下した主な業種	一般機械工業 ▲27.2% (▲3.1%) 鉄鋼業 ▲18.6% (▲0.5%)	はん用内燃機関 小形棒鋼
上昇した主な品目	乗用車(輸)、クッキングヒーター(電)、鉛蓄電池(電)	
低下した主な品目	はん用内燃機関(一)、けん引車(輸)、普通トラック(輸)	

注) 数字は対前年比。( )内は寄与度。

図 1-2 生産指数前年同期比の推移



## 2 主要業種の動向

### (1) 金属製品工業 —生産指数は低下—

平成20年の金属製品工業は、前年に比べ、生産は▲0.7%低下、出荷は0.9%上昇、在庫は▲8.3%低下した。

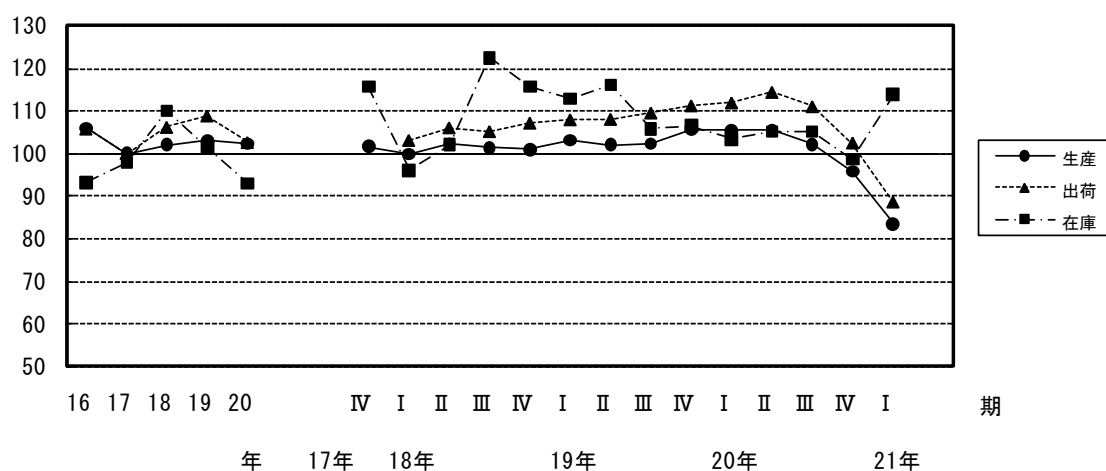
品目別に上昇品目をみると、生産及び出荷は食缶・飲料用アルミニウム缶など、在庫はうす板ばね・スチールステンレスドアなどが寄与した。

一方で低下品目については、生産及び出荷はガスコンロ・鉄塔など、在庫は食缶・アルミエクステリアなどが寄与した。

表2-1 金属製品工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		19年	20年	20年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産	指数	103.0	102.3	105.4	105.6	102.2	95.9
	増加率(%)	1.0	▲0.7	▲0.3	0.2	▲3.2	▲6.2
出荷	指数	108.9	109.9	112.0	114.5	111.1	102.5
	増加率(%)	2.5	0.9	0.6	2.2	▲3.0	▲7.7
在庫	指数	101.4	93.0	103.4	105.2	105.2	98.7
	増加率(%)	▲7.8	▲8.3	▲2.9	1.7	0	▲6.2
在庫率	指数	100.4	91.1	85.6	90.5	93.5	96.6
	増加率(%)	▲4.4	▲9.3	▲7.0	5.7	3.3	3.3

図2-1 金属製品工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



## (2) 一般機械工業 —生産、出荷指数ともに2年連続の低下—

平成20年の一般機械工業は、前年に比べ、生産は▲9.6%、出荷▲17.1%、在庫▲27.2%とすべて低下した。

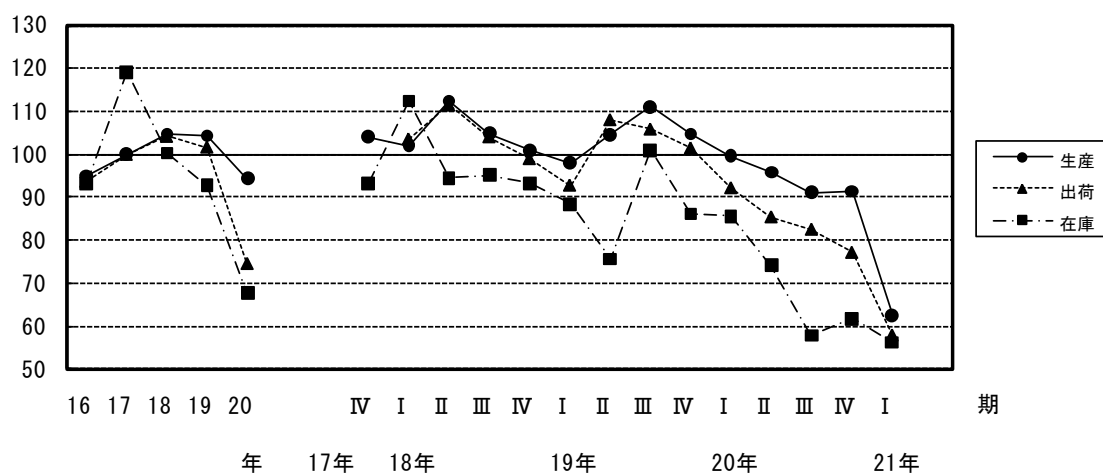
品目別に上昇品目をみると、生産及び出荷はフラットパネルディスプレイ製造装置・ポンプなど、在庫はマシニングセンタ・圧縮機などが寄与した。

一方で低下品目については、生産及び出荷は半導体製造装置・はん用内燃機関など、在庫ははん用内燃機関・農業用乾燥機などが寄与した。

表2-2 一般機械工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		19年	20年	20年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産	指数	104.4	94.4	99.6	95.8	91.1	91.4
	増加率(%)	▲0.4	▲9.6	▲5.0	▲3.8	▲4.9	0.3
出荷	指数	101.7	84.3	92.2	85.4	82.5	77.1
	増加率(%)	▲2.4	▲17.1	▲9.2	▲7.4	▲3.4	▲6.5
在庫	指数	92.8	67.6	85.6	74.1	57.8	61.7
	増加率(%)	▲7.5	▲27.2	▲0.7	▲13.4	▲22.0	6.7
在庫率	指数	104.3	105.4	105.2	112.4	90.9	110.0
	増加率(%)	8.5	1.1	▲4.4	6.8	▲19.1	21.0

図2-2 一般機械工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



### (3) 電気機械工業 －生産、出荷指数ともに2年連続の低下－

平成20年の電気機械工業は、前年に比べ、生産▲8.0%、出荷▲8.7%低下し、在庫は29.7%上昇した。

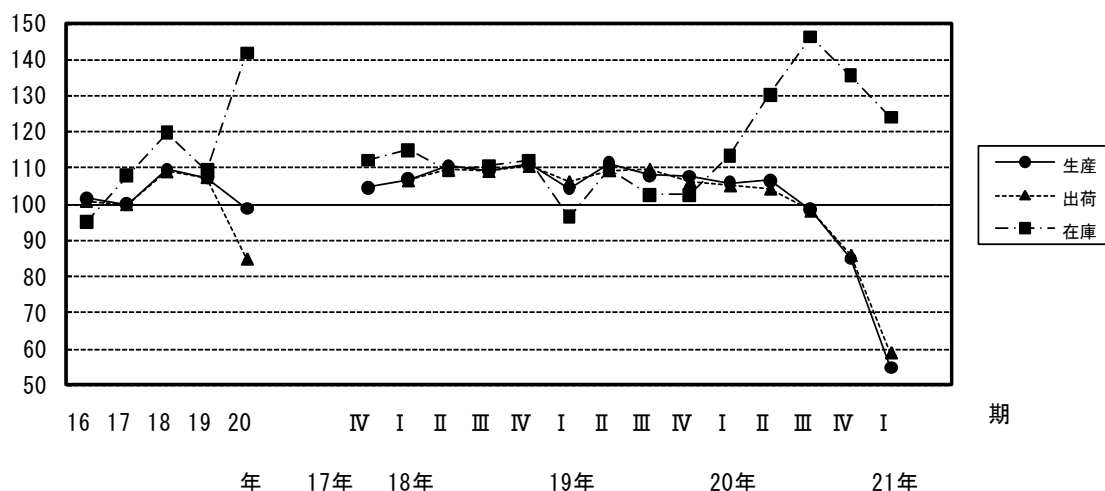
品目別に上昇品目をみると、生産及び出荷はH I Dランプ・鉛蓄電池など、在庫はクッキングヒーター・鉛蓄電池などが寄与した。

一方で低下品目については、生産及び出荷は開閉制御装置・その他の低圧器具など、在庫はH I Dランプなどが寄与した。

表2-3 電気機械工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		19年	20年	20年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	107.5	98.9	105.9	106.6	98.5	85.1
	増加率(%)	▲1.9	▲8.0	▲1.8	0.7	▲7.6	▲13.6
出荷	指数	107.5	98.2	105.2	104.3	98.2	85.9
	増加率(%)	▲1.5	▲8.7	▲1.0	▲0.9	▲5.8	▲12.5
在庫	指数	109.4	141.9	113.6	130.3	146.4	135.6
	増加率(%)	▲8.7	29.7	10.6	14.7	12.4	▲7.4
在庫率	指数	107.7	130.9	110.9	123.9	145.2	146.7
	増加率(%)	2.1	21.5	▲0.4	11.7	17.2	1.0

図2-3 電気機械工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



#### (4) 輸送機械工業 —生産、出荷指数ともに低下—

平成20年の輸送機械工業は、前年に比べ、生産は▲3.4%、出荷▲3.9%低下し、在庫は16.3%の上昇であった。

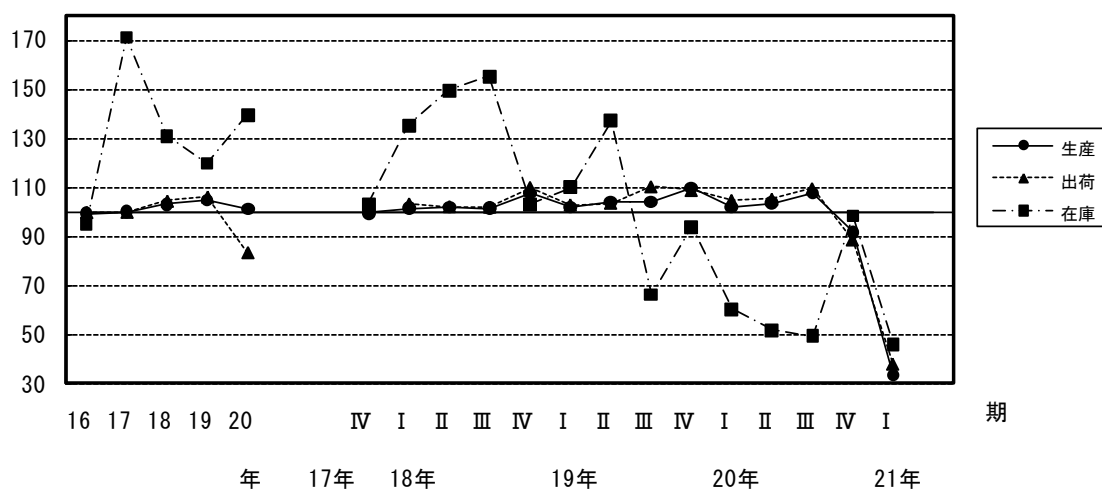
品目別に上昇品目をみると、生産及び出荷はけん引車・機関部品など、在庫は乗用車などが寄与した。

一方で低下品目については、生産・出荷については乗用車・普通トラックなど、在庫はけん引車・普通トラックなどが寄与した。

表2-4 輸送機械工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		19年	20年	20年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産	指数	104.9	101.3	102.1	103.7	107.7	91.8
	増加率(%)	1.7	▲3.4	▲7.1	1.6	3.9	▲14.8
出荷	指数	106.2	102.1	104.8	105.3	109.6	88.7
	増加率(%)	1.6	▲3.9	▲3.8	0.5	4.1	▲19.1
在庫	指数	119.9	139.5	60.3	51.8	49.4	98.4
	増加率(%)	▲8.5	16.3	▲35.9	▲14.1	▲4.6	99.2
在庫率	指数	88.5	67.6	69.7	47.8	47.8	91.7
	増加率(%)	▲32.3	▲23.6	▲5.9	▲31.4	0	91.8

図2-4 輸送機械工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



## (5) 化学工業 —生産は横ばい、出荷は低下—

平成20年の化学工業は、前年に比べ、生産は横ばいで、出荷は▲0.1%、在庫 ▲4.4%の低下であった。

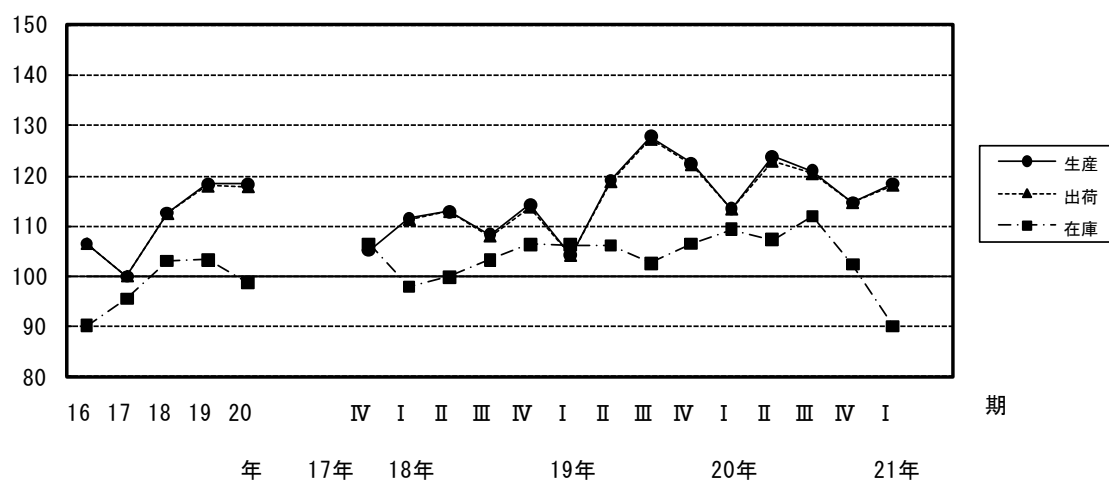
品目別に上昇品目をみると、生産及び出荷は医薬品・ウレタンフォームなど、在庫は、印刷インキ用ワニス・ウレタンフォームなどが寄与した。

一方で低下品目については、生産・出荷及び在庫とも、合成樹脂塗料・印刷インキなどが寄与した。

表2-5 化学工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		19年	20年	20年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産	指数	118.3	118.3	113.5	123.8	121.0	114.7
	増加率(%)	5.0	0	▲7.3	9.1	▲2.3	▲5.2
出荷	指数	118.0	117.9	113.4	123.0	120.5	114.7
	増加率(%)	4.9	▲0.1	▲7.3	8.5	▲2.0	▲4.8
在庫	指数	103.3	98.8	109.3	107.3	112.0	102.4
	増加率(%)	0.2	▲4.4	2.6	▲1.8	4.4	▲8.6
在庫率	指数	105.2	112.0	109.3	110.5	114.4	116.1
	増加率(%)	4.9	6.5	4.3	1.1	3.5	1.5

図2-5 化学工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(6) プラスチック製品工業 —生産、出荷指数ともに2年連続の低下—

平成20年のプラスチック製品工業は前年に比べ、生産は▲4.6%、出荷は▲7.9%低下し、在庫は5.7%上昇した。

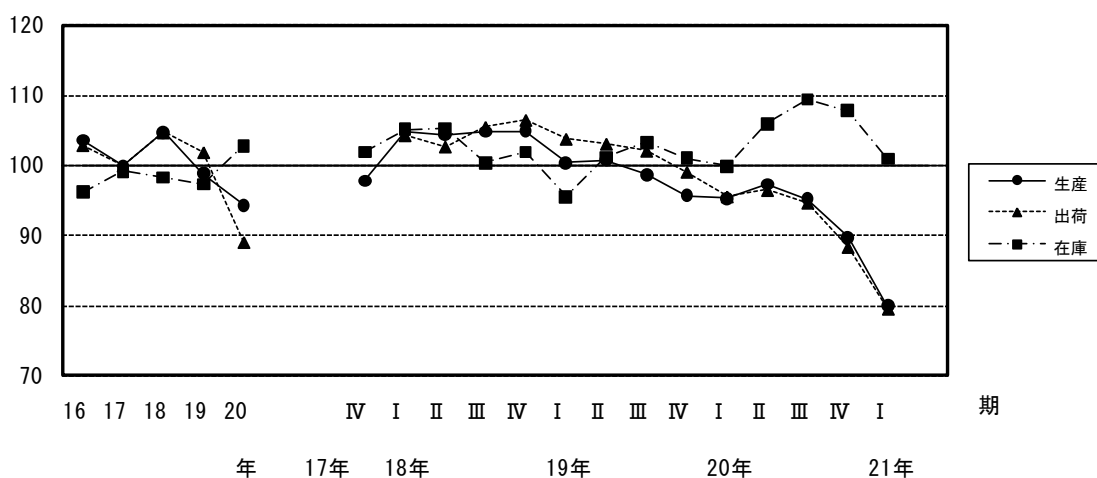
品目別に上昇品目をみると、生産及び出荷については発泡プラスチック製品など、在庫はプラスチックシート・プラスチック製機械器具部品などが寄与した。

一方で低下品目については、生産及び出荷はプラスチック製フィルム・プラスチック製容器など、在庫はプラスチック製建材などが寄与した。

表2-6 プラスチック製品工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		19年	20年	20年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産	指数	98.8	94.3	95.3	97.3	95.2	89.7
	増加率(%)	▲5.6	▲4.6	▲0.4	2.1	▲2.2	▲5.8
出荷	指数	101.9	93.9	95.6	96.5	94.7	88.4
	増加率(%)	▲2.7	▲7.9	▲3.5	0.9	▲1.9	▲6.7
在庫	指数	97.3	102.8	99.9	105.9	109.4	107.8
	増加率(%)	▲1.0	5.7	▲1.1	6.0	3.3	▲1.5
在庫率	指数	96.2	111.0	105.1	106.6	112.6	120.2
	増加率(%)	▲1.7	15.4	5.8	1.4	5.6	6.7

図2-6 プラスチック製品工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)





### 3 財別動向

#### (1) 生産 —最終需要財・生産財ともに低下—

平成20年の生産動向を財別にみると、前年に比べ、最終需要財は▲5.1%（投資財▲9.6%、消費財▲2.2%）、生産財も▲5.4%と低下した。

品目別に上昇品目をみると、最終需要財ではフラットパネルディスプレイ製造装置（投資財）や医薬品・携帯電話（消費財）、生産財ではおう版印刷などが寄与した。

一方で低下品目については、最終需要財では半導体製造装置（投資財）・乗用車（消費財・投資財）、生産財では平版印刷などが寄与した。

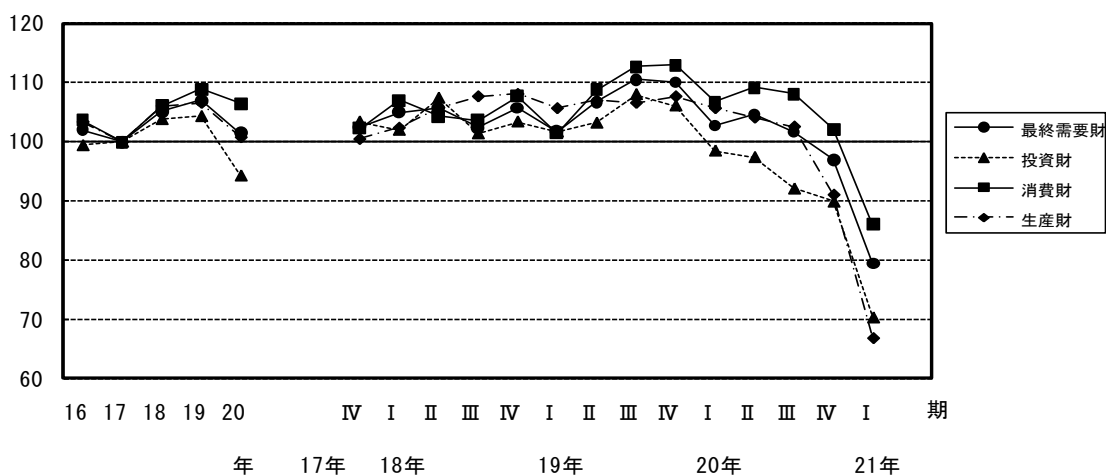
表2-1 財別生産の推移

(17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		19年	20年	20年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
最終需要財	指数	107.0	101.5	102.8	104.7	101.7	97.0
	増加率(%)	1.8	▲5.1	▲6.6	1.8	▲2.9	▲4.6
投資財	指数	104.3	94.3	98.5	97.4	92.1	89.9
	増加率(%)	0.5	▲9.6	▲7.2	▲1.1	▲5.4	▲2.4
資本財	指数	104.2	91.4	97.3	95.1	87.5	86.4
	増加率(%)	0.4	▲12.3	▲9.1	▲2.3	▲8.0	▲1.3
建設財	指数	104.7	100.4	101.3	102.6	101.3	96.4
	増加率(%)	1.1	▲4.1	▲3.0	1.3	▲1.3	▲4.8
消費財	指数	108.9	106.5	106.7	109.2	108.1	102.1
	増加率(%)	2.6	▲2.2	▲5.6	2.3	▲1.0	▲5.6
耐久消費財	指数	99.0	95.6	99.7	97.3	96.1	89.6
	増加率(%)	▲1.3	▲3.4	▲1.4	▲2.4	▲1.2	▲6.8
非耐久消費財	指数	114.8	113.0	110.9	116.6	115.3	109.2
	増加率(%)	4.7	▲1.6	▲7.0	5.1	▲1.1	▲5.3
生産財	指数	106.6	100.8	105.7	104.1	102.6	91.1
	増加率(%)	0.5	▲5.4	▲1.9	▲1.5	▲1.4	▲11.2
鉱工業用生産財	指数	102.8	100.1	104.9	103.7	102.6	89.3
	増加率(%)	▲0.8	▲2.6	0.9	▲1.1	▲1.1	▲13.0
その他用生産財	指数	124.8	104.2	107.9	106.4	103.4	99.8
	増加率(%)	5.9	▲16.5	▲13.7	▲1.4	▲2.8	▲3.5

図2-1 財別生産の推移

(17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



## (2) 出荷 —最終需要財・生産財ともに低下—

平成20年の出荷動向を財別にみると、前年に比べ、最終需要財は▲4.1%（投資財▲7.8%、消費財▲1.9%）、生産財も▲8.0%と低下した。

品目別に上昇品目をみると、最終需要財では携帯電話（消費財）やフラットパネルディスプレイ製造装置（投資財）・医薬品（消費財）、生産財ではおう版印刷などが寄与した。

一方で低下品目については、最終需要財では半導体製造装置（投資財）・乗用車（消費財・投資財）、生産財では平版印刷などが寄与した。

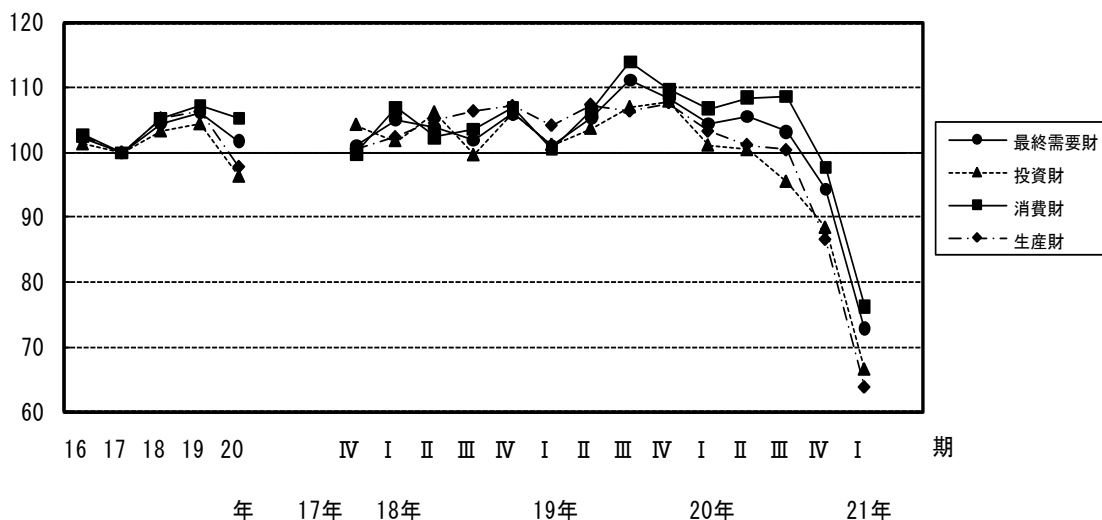
表2-2 財別出荷の推移

(17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		19年	20年	20年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
最終需要財	指数	106.2	101.8	104.5	105.6	103.3	94.4
	増加率(%)	1.5	▲4.1	▲3.6	1.1	▲2.2	▲8.6
投資財	指数	104.4	96.3	101.1	100.4	95.5	88.4
	増加率(%)	1.1	▲7.8	▲6.3	▲0.7	▲4.9	▲7.4
資本財	指数	103.9	94.0	100.5	98.9	92.2	84.3
	増加率(%)	1.2	▲9.5	▲7.9	▲1.6	▲6.8	▲8.6
建設財	指数	105.7	101.9	103.2	104.4	102.2	98.0
	増加率(%)	0.8	▲3.6	▲1.1	1.2	▲2.1	▲4.1
消費財	指数	107.3	105.3	106.8	108.5	108.7	97.7
	増加率(%)	1.9	▲1.9	▲2.6	1.6	0.2	▲10.1
耐久消費財	指数	101.3	99.2	102.7	101.7	102.8	89.9
	増加率(%)	▲0.6	▲2.1	0.4	▲1.0	1.1	▲12.5
非耐久消費財	指数	113.9	112.0	110.6	115.2	114.1	108.1
	増加率(%)	4.5	▲1.7	▲6.4	4.2	▲1.0	▲5.3
生産財	指数	106.3	97.8	103.3	101.2	100.4	86.6
	増加率(%)	0.9	▲8.0	▲4.1	▲2.0	▲0.8	▲13.7
鉱工業用生産財	指数	103.2	96.7	102.3	100.3	100.0	84.3
	増加率(%)	0.0	▲6.3	▲2.5	▲2.0	▲0.3	▲15.7
その他用生産財	指数	124.6	104.2	108.4	106.4	103.2	99.2
	増加率(%)	5.8	▲16.4	▲13.2	▲1.8	▲3.0	▲3.9

図2-2 財別出荷の推移

(17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



### (3) 在庫 —最終需要財・生産財ともに上昇—

平成20年の在庫動向を財別にみると、前年に比べ、最終需要財は8.9%（投資財▲5.7%、消費財17.3%）、生産財も4.5%と上昇した。

品目別に上昇品目をみると、最終需要財では乗用車(消費財・投資財)・電子キーボード類(消費財)や、生産財ではクッキングヒーターなどが寄与した。

一方で低下品目については、最終需要財ではけん引車(投資財)や普通トラック(投資財)、生産財でははん用内燃機関などが寄与した。

表2-3 財別在庫の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		19年	20年	20年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
最終需要財	指数	104.2	113.5	82.2	78.3	75.7	99.0
	増加率(%)	▲5.2	8.9	▲13.6	▲4.7	▲3.3	30.8
投資財	指数	97.5	91.9	91.2	90.4	88.9	88.1
	増加率(%)	▲5.3	▲5.7	▲3.2	▲0.9	▲1.7	▲0.9
資本財	指数	104.2	87.0	78.4	71.9	68.8	72.8
	増加率(%)	▲19.2	▲16.5	▲15.2	▲8.3	▲4.3	5.8
建設財	指数	93.8	94.6	96.9	99.6	99.9	97.9
	増加率(%)	5.5	0.9	1.7	2.8	0.3	▲2.0
消費財	指数	108.4	127.2	75.4	71.4	64.1	104.6
	増加率(%)	▲5.1	17.3	▲20.8	▲5.3	▲10.2	63.2
耐久消費財	指数	109.1	130.6	69.5	65.0	55.7	103.6
	増加率(%)	▲7.5	19.7	▲25.3	▲6.5	▲14.3	86.0
非耐久消費財	指数	104.7	109.0	101.6	102.2	100.6	107.4
	増加率(%)	10.7	4.1	▲2.2	0.6	▲1.6	6.8
生産財	指数	102.4	107.0	103.1	106.7	105.2	104.9
	増加率(%)	▲1.5	4.5	3.0	3.5	▲1.4	▲0.3
鉱工業用生産財	指数	102.0	106.8	102.8	106.6	105.2	104.7
	増加率(%)	▲2.3	4.7	3.0	3.7	▲1.3	▲0.5
その他用生産財	指数	133.5	117.2	112.9	116.4	104.8	109.6
	増加率(%)	69.4	▲12.2	▲11.9	3.1	▲10.0	4.6

図2-3 財別在庫の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

